

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和4年度）

施設名	吹田市資源リサイクルセンター	所管部室課名	環境部環境政策室
所在地	吹田市千里万博公園4-3	設置年月日	平成4年11月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	ごみの減量、再資源化及び再生利用の推進を図り、快適な生活環境づくりや持続可能な社会の実現を目指す。		
(2)規模、開館日等	【規模】 ・市民工房2：30人 ・マルチホール：270人 ・講義室1：45人 ・講義室2：81人 ・生活学習室：24人	・会議室：30人 ・和室：12人 ・展示室：170	【開館日等】 開館時間：午前9時～午後5時 休館日：月曜日、年末年始（12/29～1/3）、国民の祝日（国民の祝日が月曜日の場合はその翌日も休館日）、施設点検日（年間1日程度）

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	公益財団法人 千里リサイクルプラザ					
(2)指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）					
(3)選定方法	非公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	1 市民工房の運営事業 2 不用品交換事業 3 市民・事業者向け啓発事業 4 調査及び研究事業 5 展示等に関する事業 6 施設の使用許可及び使用料の徴収業務 7 施設の維持管理業務 8 視察・見学者の対応業務 9 多様な主体と連携業務 10 吹田市資源リサイクルセンター事業の広報等に関する業務					
(5)指定管理者の収支			令和3年度		令和4年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	指定管理料又は利用料金 (円)	51,524,000	49,738,610	51,760,000	50,682,646
		自主事業収入 (円)	5,905,000	2,126,851	4,982,530	2,718,833
		その他 (円)	18,899,000	18,793,528	18,834,755	18,926,842
	支出	管理経費 (円)	51,524,000	49,738,610	51,760,000	50,682,646
		自主事業 (円)	24,763,000	16,991,816	24,938,692	19,864,972
その他 (円)		0	0	0	0	
収支差額 (円)		41,000	3,928,563	-1,121,407	1,780,703	

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和3年度		令和4年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	貸室利用件数（利用率） (件)	-	454 (18.1%)	454 (18.1%)	605 (19.2%)
2	貸室利用人数 (人)	-	8,133	8,133	13,049
3	視察・見学者数（団体数） (人)	-	1,948 (37団体)	1,948 (37団体)	4,448 (64団体)
4	工房利用者数（受託のみ） (人)	-	3,793	3,793	4,868
5	講演会参加者数（回数） (人)	-	27 (1回)	27 (1回)	76 (1回)
6	あげます・もらいますコーナー 持ち込み品数（持ち帰り品数） (品)	-	17,111 (12,103)	17,111 (12,103)	20,408 (15,378)
7	常設型フリーマーケット来室者数（出店数） (人)	-	5,002 (201店)	5,002 (201店)	6,346 (265店)
8	環境出前講座参加者数（回数） (人)	-	231 (17回)	231 (17回)	951 (58回)

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・常設アンケート（各市民工房、展示室） ・イベント等参加者へのアンケート（施設見学時、実践教室開催時） ・問合せメール（ホームページ） ・ホームページのアクセスデータの解析
(2)把握結果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学時の案内人の声が聞き取りにくかったことに対する改善要望 ・興味のある施設箇所の説明時間が短かったことに対する改善要望 ・スマートフォンからホームページを閲覧する人が多い。
(3)結果を受けての対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・案内人の案内スキルの向上のため、研修を行うこととした。 ・事務局職員及び案内人による事前打合がさらに綿密なものになるよう、ニーズ把握等により力をいれることとした。 ・スマートフォンからも閲覧しやすいホームページ作りをする事とした。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、企業、団体等と協働し、施設の設置目的に沿った運営が行われている。 ・関係法令を遵守した運営が行われており、利用者の公平性が確保されている。 ・指定管理者が定める個人情報保護規則に基づき、個人情報は適正に取り扱われている。また、個人番号も適正に取り扱われている。
(2)施設の効用の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的に沿った事業計画を策定し、市からの受託事業に加え、魅力ある自主事業を実施するなど、多岐にわたった環境啓発事業を実施している。しかし、啓発手段及び啓発内容が旧来のものにとどまり、より効果的な啓発を行う余地がある。 ・利用者サービスの向上を図るため、利用者アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な管理運営体制が構築できるように人員配置を行っている。 ・自転車工房では、有資格者を直接雇用し、他の工房についても熟練者を配置している。 ・内部管理、接遇、災害等に関する研修への参加が中心となっている。ごみの減量、地球温暖化問題といった、環境に関する知識向上を主とするセミナーへの参加や、他の環境啓発施設や他団体が主催するイベント等への視察等にも積極的に参加されたい。 ・本市からの指定管理委託料に加え、基本財産の運用益により、安定的な事業運営が行われている。
(4)施設の管理経費の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の利用を減らし、電子媒体を利用をする等、経費の削減に努めており、毎年度、決算報告時には、余剰金を市に返納している。
(5)環境配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・マイボトル等の利用や、利用していない場所の消灯に努めている。また、資源の分別を徹底し資源化に努めている。 ・令和4年度から、環境社会検定（エコ検定）の資格取得を推進し、知識向上に向け、職員の育成を図っている。
(6)総合評価	<p>循環型社会の形成に向け、市からの受託事業に加え、多様な自主事業を実施しており、市民に対するごみ減量・再資源化の啓発や本市第3次環境基本計画に掲げる重点戦略の推進などに貢献している。例えば、比較的新しく開始した環境啓発動画コンテストは、地球温暖化、食品ロス、プラスチックごみ等の問題を様々な角度から応募者自らが考え、その内容を動画にすることで、応募者及び動画視聴者の環境意識の向上につながっている。また、くるくるキッズ環境スクールは、親子を対象とし、環境施設見学会、自然体験、工房体験等の連続講座を行うことで、若年層の啓発につながっている。一方、展示室を利用した展示等は、啓発内容及び啓発手段が旧来のものにとどまり、より効果的な啓発を行う余地がある。また、ごみの減量につながる企業のプラットフォーム（フリーマーケットアプリ等）の活用や、タイアップを検討されたい。また、ホームページのセンスアップ（見やすさ、ページ全体の統一感等）にも取り組まされたい。</p>